

日工グループの事業はステークホルダーとの信頼の上に成り立っています。ステークホルダーの皆様との継続的な対話を通じて、日工グループの目指す方向や価値創出の道筋に共感を得て、ステークホルダーの理解のもとに社会の持続可能性に貢献するとともに企業として持続的成長の実現を目指していきます。

ステークホルダーとの価値共創



ステークホルダーとの関係と主な対話チャンネル

	ステークホルダーとの関係	ステークホルダーの主な関心事	主な対話チャンネル
	日工グループは製品とサービスの提供を通じてお客様の業務拡大と生産性の向上に寄与しています。同時にお客様とともに社会基盤整備を通じて豊かな社会づくりに貢献しています。	<ul style="list-style-type: none"> 高性能・高品質製品の提供 安心安全を提供するサービス体制 適正な価格設定 課題解決に向けた提案力 技術革新へ対応 自然災害からの早期復興 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の営業・サービス活動 各種展示会(2021MPメッセ、2021NEW環境展への出展) プラントオペレータ研修の提供 機関誌(NAP NEWS、BP EYESの編集・発行) Nikkoウェブサイト
	すべての従業員は最も貴重な資本でもあります。事業を取り巻くあらゆる変化に素早く対応し社会への貢献が持続できる組織づくりや人材育成に取り組んでいます。属性や価値観の異なる従業員の期待に向き合い働きがいのある職場環境の整備に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> 労働における基本的権利の尊重 成長と自己実現の機会提供 公平な機会と公正な評価 心理的安全性の高い職場づくり 安全操業の徹底と自然環境への配慮 仕事と生活の両立 多様性の確保と働き方の選択肢 	<ul style="list-style-type: none"> イントラネット 社内報(トンボ) 目標設定・進捗確認、評価フィードバック 英語・特別技能研修、自律選択型啓発セミナー 業務効率改善運動 内部通報制度 譲渡制限付株式付与

	ステークホルダーとの関係	ステークホルダーの主な関心事	主な対話チャンネル	
	資材調達先	<ul style="list-style-type: none"> 日工設計による外製品調達先(約20社) 一般資材調達先(約100社) 	<ul style="list-style-type: none"> 公平・公正な取引条件 品質評価 集中購買 事業継承・技術伝承支援 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の調達活動 品質向上支援 工場・倉庫訪問 品質監査
	トンボ会 (販売代理店ネットワーク)	資材調達先、販売代理店、協力工事店などすべての取引先様とともにサプライチェーンが抱える社会的課題の解決に取り組むことが不可欠と考えています。	<ul style="list-style-type: none"> 新製品提案 販路開拓支援 	<ul style="list-style-type: none"> 総会、分科会の開催
	アキツ会 (協力工事店ネットワーク)	加盟数: 195社	<ul style="list-style-type: none"> 安全な労働環境 専門技能・技術への助言 長期安定的な仕事量の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生会議の開催
	日工グループが発展、成長していくためには社会の持続可能を高めることに貢献する必要があります。日工が目指すカーボンニュートラルの実現は未来世代への責務と考えています。	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会との共生 雇用の創出 地域発展への貢献 地域の自然環境の保全 安全操業 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県学生への返済不要の学金の提供 兵庫県研究者への研究助成金の給付 明石市内全域の小学校・養護学校(14校)への防災教育支援(防災手ぬぐいの提供) 気候リスクへの責任ある対応 兵庫県SDGs債への投資(再生可能エネルギープロジェクトなど発行趣旨に賛同) 	
	株主・投資家は財務資本の提供者として日工グループの成長を支援すると同時に経営の監視を担っています。企業価値向上の取り組みの強化と情報開示を充実することで一層の信頼関係を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> 企業価値の向上 フェア・ディスクロージャーの推進 資本効率を意識した資本政策 資本コストを上回る事業リターンの達成 ESG/サステナビリティへの取り組み強化と情報開示の充実 ガバナンスの実効性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 株主総会(5,081名出席/オンライン出席含む) 決算説明会(4回) 機関投資家との個別ミーティング(10回/18名) 	

数字は2021年度の実績